

居村防災新聞

中藤地区居村自主防災会

居村自主防災会とは

福井市の自治会にはそれぞれ自主防災会が存在しております。私たちは有志の集まりですが、目ごろから防災・自治会の交流などのため活動しております。防災会と言ってもメインの活動は近所の顔合わせです。ただし、この活動があるおかげで、中藤島地区という新興住宅地にありながら住民間の交流は活発に行っています。

防災イベント(平時の活動)

地域の防災啓蒙のため年に数回防災イベントを開催しております。

昨年はマイタイムライン作成を国土交通省協力のもと自治会員の皆さんで勉強させていただきました。マイタイムライン作成を通じて、自分たちの地域の水害リスクを知ることから始まりました。高齢者のいる世帯、子供がいる世帯でそれぞれの災害への準備は異なります。ご家庭でどのタイミングでどんな準備をすればよいかを考え、各家庭に持ち帰りました。



マイタイムラインの講演会

防災井戸の設置

井戸設置は地震などの災害時に水道インフラが途絶えたときに水源の確保を目的としています。水源を確保するだけであれば業者さんにお願いして掘ることもできるかもしれませんが、私たちは自分たちで掘った方がメリットが多いと考え、手作業で掘りました。

メリット1 安価である。

業者さんをお願いすれば数十万円はかかるそうですが、私たちの支出は約75000円でした(人件費除く)。

メリット2 増設可能、メンテナンス可能

災害時の緊急の事態になれば増やせる。今後の自治会の変化や災害時に道具をそろえておくことで、増設が可能です。また、故障などのトラブルに対応もしやすくなります。

メリット3 自分たちの技術向上

防災会には様々な職種の方が参加しております。また、趣味でDIYをされている方もいます。このような方から教えていただき、自分たちでできることを増やしていく。災害時にも役立つ知識を得られます。

メリット4 住民間の交流

井戸掘りに人が集まることで地域住民の交流ができます。ご近所さんでも交流が少なくなっている現代社会において、一つの目的のために住民が集まり、交流が生まれます。



スコップで穴を掘る様子

除雪協力

福井市の助成をいただき自治会で除雪機を購入しました。雪の多い日は歩道の除雪を防災会会員が協力して行っております。

会員も自分たちの家や会社の除雪もあるので持ち回りで時間帯を調整しながら除雪協力を回しています。また、LINEを通して雪でスタックして動けなくなった車も会員が助け合って救助行ったりしています。休日などには高齢者世帯やごみステーションの除雪も



歩道の除雪を行う会員



ゴミステーションの除雪

行っております。会員同士が声を掛け合い、自治会員の交流を持ちながら協力して除雪をしています。除雪を通して改めて自分たちの地域の災害弱者がどこにいるのかを把握する機会ともなります。大雪の時には行政の除雪も遅れることがあります。其助の精神で会員が協力し合いながら大雪を乗り切っています。

井戸掘りにチャレンジした経緯

井戸掘りは自治会員の中に経験者はおませんでした。インターネット、本を頼りに知識を集めることから始めました。掘り進めて見ると場所が良かったのか、特に大きなトラブルもなく水源を確保できました。要した時間は半日作業を3日間でした。参加人数は十数名集まりましたが、もっと少ない人数でもできると思います。井戸掘りを通して会員で交流しながら成し遂げるのは楽しい経験でした。そして、自分たちで成し遂げたことは自信につながり、次のチャレンジに進む原動力となります。



ポンプを設置、水が出た！



パイプを埋め、井戸を閉じ込める

居村自主防災会のこれから

3rd space(第三の居場所)という言葉をよく聞きます。家庭、職場以外の自分たちの居場所です。私たちは自治会・防災会活動を通して安心・安全で過ごせる地域づくりを目指しながら、3rd space作りを提案し住民の方が孤独にならない地域を目指していきたいと思っています。